

1. 事業の位置付け

事務事業名	母子保健事業		
事業担当	健康・こども部 健康課		
予算科目	01-040102-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	母子保健法		
対象・受益者	小児、保護者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： 医師、市民 】		
目的・目標		事業の概要	
安心で快適なお産や育児ができ、生活の質が向上しています。		妊娠・出産に対する不安解消のため、健診などによる母子に優しい環境づくりや産後における「こんにちは赤ちゃん」事業など、安心して生み、ゆとりをもって健やかに育てられるよう支援をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	アンケート調査実施回数						単位	回数
	説明・算定式	各事業等年1回程度実施							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			12	12	12			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	妊婦健診、乳幼児健診の各受診率						単位	%
	説明・算定式	受診者数÷対象者数×100							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			90	91	91			
成果指標②	指標名	健診・教室・相談での満足度						単位	%
	説明・算定式	受診者及び受講者等を対象としたアンケート調査							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			80	80	80			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
7月より「こんにちは赤ちゃん」事業を実施し、生後4箇月になる前日までに訪問することにより、出産後早期に育児支援及び子育てに関する情報提供を実施するとともに、改正第2次母子保健計画の見直しを行い、母子保健事業の充実を図ることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	母子保健法に基づく事業であり、必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	母子の健康を守るため、また乳児から幼児までの継続的に事業を推進するために、有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	臨時職員や嘱託職員対応で業務を行っている部分もあり、今後、事業拡大があった場合人員配置など検討を要す。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	一部事業の委託も考えることが必要である。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		母子保健事業の土曜日開催の対応を含めて、事業の充実を図っていく。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				健康診査、健康教育・相談事業、訪問事業等	健康診査、健康教育・相談事業、訪問事業等	健康診査、健康教育・相談事業、訪問事業等	健康診査事業 健康教育・相談等 事業	
財源内訳	国庫支出金	0	0	5,753	5,274	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	54	264	0	0	0
	一般財源	0	0	101,579	153,043	119,863	0	0
事業費 (A)		0	0	107,386	158,581	119,863	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	89.95				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	12.95	12.95	12.95	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	108,664	108,664	108,664	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	216,050	267,245	228,527	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 現状の事業の更なる充実を図る。	
平成21年度取組方針	
施設の特性をいかした、各母子健診、母子教室、母子相談事業の見直しを行う。	
課長コメント	母子保健法に基づく事業の推進であるとともに、深刻化する少子化対策の観点からも、妊娠期、出産期の充実した支援は、今後も継続して実施することが重要であると考えます。